



# 2022 JAPAN CHALLENGE



## S-FJ オートポリスシリーズ 第3戦 第4戦 GOLD CUP RACE SERIES

2022年 9月 11日 天候:晴れ 参加20台

2022 S-FJ ジャパン・チャレンジの第5大会がオートポリスにて開催された。鈴鹿や関東からの遠征組も多く20台の参加があった。オートポリスのコースは多種類のコーナーと起伏も大きく、ドライビングスキル向上に効果的なコース。2レース開催であったが、レース2のグリッドは予選のセカンドタイムによる方式、しかし予選の最後に赤旗が出たので、タイムを出し切れなかったレース1ポールの岡本選手は最後尾に、同じく2番手だった渡会選手は18番手スタートとなり、まるでリバースグリッドのようにしてレース2はスタートすることになった。



テキスト:はた☆なおゆき

全5戦で争われるスーパーFJ オートポリスシリーズは、第3戦と第4戦を連戦で、そしてジャパン・チャレンジとのWタイトルで開催された。普段のレースでも10数台の参加があるシリーズだけに、遠征ドライバーも加わり、エントリーは20台と活況を呈していた。

オートポリスシリーズここまでの2戦は、鈴鹿からの遠征となる清水啓伸(DragoCorse)が開幕戦を、そして東慎之介(セルモグループ ORM/戸田 ED)が第2戦を制覇。開幕戦では5位だった東がランキングのトップに立っており、これを碓井ツヨシ(C.O.B-KART)と入江裕樹(スラッシュ☆タツミレーシング)が3ポイント差で追う展開となっている。

今大会にも清水が、さらにジャパン・チャレンジの顔ともなっている岡本大地(FTK・レヴレーシングガレージ)も遠征してきているだけに、シリーズにどう影響を及ぼすか注目される。なお、ジャパン・チャレンジ4戦3勝の岡本は、今大会の結果次第でモビリティリゾートもてぎでの最終大会を待たずに、3連覇達成となる。

### 《公式予選》

今大会はWヘッダー開催であるものの、1デイイベントであるため、非常に慌ただしいスケジュールとなっていた。ちなみに9時55分から15分の予選が行われ、13時50分からレース1を、そして16時35分からレース2を、それぞれ10周で競うという次第。なお、レース1のグリッドはベストタイム、レース2のグリッドはセカンドベストタイムで決められる。タイヤに関して予選と2レースを通じ、2セットの使用が可能である。

天候はいたって穏やか。暑過ぎず、涼し過ぎず、いよいよ秋の雰囲気を感じ始めたといったところだ。そして定刻どおりに予選はスタート。全車一斉にコースインしていくのかと思いきや、遠征ドライバーの何人かは、すぐにピットを離れず。松田大輝選手(K-TACK MYST KK-SII)、渡会太一選手(KK-SII)が開始から3分後、岡本選手にいたっては5分後ようやくピットイン。もっとも、岡本選手はトラブルを抱えていたようではあったが……。

20台も走れば後半の方が、路面状態は圧倒的に良くなっているだろうが、まさかまさかの事態が発生する。6番手に浮上したばかりの益田富雄選手(KTMS.RT.ミスト KK-SII)がクラッシュ。赤旗が出されて計測は2分を残していたものの、終了が告げられてしまったのだ！

その時点でトップタイム、1分59秒092をマークしていたのは岡本選手ながら、遅れてコースインしたことでワンアタックしかできなかったのだ。計測1周目のセカンドベストタイム2分25秒843は、もちろん最下位。慎重なウォームアップも仇となった。

一方、ベストタイムで2番手は渡会選手で1分59秒517をマーク、3番手は2分0秒214の松田選手だったが、計測1周目からプッシュしていた松田選手はなんとかセカンドベストタイムを7番手に留めていたのに対し、渡会選手もまた岡本選手同様、下位に沈んでレース2は18番手から挑む羽目に。

その意味で言えば、2本を誰よりしっかりまとめてきたのが清水選手だった。ベストタイムは2分0秒262で4番手ながら、セカンドベストタイムは2分0秒645でトップ。その清水選手に2レースとも続く格好となったのが、夕田大助選手(LAPS)だ。前週に行われた鈴鹿シリーズ最終戦で6位を獲得したジェントルマンドライバーが、オートポリスでも大躍進遂げて、レース2はフロントローからスタートを切ることとなった。そして、レース2で3番手からスタートするのは、永原蒼翔選手(ピットワークながはら LBJ)で、地元ドライバーとして、これが最上位となる。4番手は益田選手ながら、4時間にも満たないインターバルで、果たしてマシンは修復なるのか？

予選 レース1:PP/レース2:20 番手 岡本大地選手(FTK・レヴレーシングガレージ)

ちょっとトラブルっていて、直前で。それで作業に時間を取られて、ワンアタックしかできませんでした。ポールが獲れたレース 1 は絶対に勝ちたい。だけど、レース 2 はちょっと、本当にビリですよ。だから、どうしようかな、といったところで。どこまで行けるかわかりませんが、頑張ります。



予選 レース 1:2 番手/レース 2:18 番手 渡会太一選手(KK-SII)

セカンドベストタイムは最悪でした。一発(ベストタイム)も引っかけちゃって、本当ならもっと出せたとし、セカンドも普通に走っていたら出せたので……。うまく行かないですね。レース 2 では、岡本選手と一緒に頑張って追い上げます。



予選 レース1:3 番手/レース2:7 番手 松田大輝選手(K-TACK MYST KK-SII)

一応、予選で自己ベストを更新できて、練習でも出ていないタイムが出せたので、その点においては少し満足して、ホッとしている感じもあるんですけど、でもオートポリスが初めてだからといって、本当に速いドライバーは初めから速いと思うし、まだまだ足りない部分もありますので、次はレースなのでなんとか表彰台で粘れば。高みを目指すなら優勝まで行きたいですけど、堅実に表彰台は狙っていきたいと思っています。



## 《決勝レース 1》

予選に比べると太陽が高く上がった分、温度は上がってはいるものの、山の中のサーキットとあって空気は澄んでいて、日陰に入れば依然過ごしやすくはあった。ただ、コースとなると、そうはいくまい。さて、スタート進行が開始された段階では、グリッドに並ぶことはできなかった益田選手ながら、なんとかピットスタートは可能に。メカニックの懸命な修復あってこそ！

好スタートを切った岡本選手が1コーナーへのホールショットを決めたのに対し、やや出遅れた渡会選手は清水選手の先行を許してしまう。だが、渡会選手は3コーナーで早くも2番手に振り返る。この間に生じたギャップが、岡本選手を楽にした。オープニングラップを終えた時点で、築かれたリードは早くも1秒7となっていた。

一方、3番手スタートで、唯一ニュータイヤを装着して注目された松田選手だったが、完全に失敗して、オープニングラップを終えた時点で10番手に後退していた。4番手には夕田選手が浮上し、入江選手と永原選手といった地元ドライバーを従える。

2周目を終えると、もう岡本選手だけでなく、渡会選手と清水選手も単独走行に。4周目には夕田選手も後続を振り切っていたのに対し、激しくなっていたのが入江選手と永原選手による5番手争いだ。しかし、これも6周目の1コーナーで決着がつき、永原選手が前に出る。しかし、これでバトルは終わりとはならず、追い上げてきた松田選手が8周目に入江選手をロックオン。9周目の1コーナーで横に並び、第1ヘアピンでようやく前に出る。さらに松田選手は永原選手の背後にまで迫ったが、最後のゴールライン上でコンマ2秒及ばなかった。

その間にも、岡本選手は4周目にファステストラップ1分59秒794を出しつつも、まったく危ない走りを見せて最後は5秒7差の圧勝に。ジャパン・チャレンジ4勝目をマークした。



優勝 岡本大地選手(FTK・レヴレーシングガレージ)

練習走行でロングかけている時に、タイヤが保たなさそうだったんですよ。特に左後ろがきつかったので、そのケアしながらのレースになると思っていたんですが、スタートで渡会が少し下がって、その

差ができたのが良かったというか、マネージメントしやすくなったので、なんとか保たせられて良かったという感じです。次はそうですねえ、後方からプッシュし続ける分、タイヤが保たないような気がするんですよ。もちろん全力は尽くします。

### 2位 渡会太一選手(KK-SII)

スタートでシフトミスして、それで落ちちゃったんですけど、その後すぐポジション戻したのは良かったとはいえ、それで岡本選手と離れちゃったので……。バトルに持ち込めていたら、また違った展開だったと思うので、課題ですね、それは。次はケツの方からのスタートなので、どうなるか分からないですけど、頑張ってます。

### 3位 清水啓伸選手(DragoCORSE)

最初から、予選の時もフロントタイヤが全然温まらないし、温まっても全然グリップしないというのがあって、なので分かっています。1 周目、渡会選手とバトルしたんですけど、もう粘ろうと思ったら、ぶつかりそうだったので……。諦めて3番手に下がってからも、ペースは遅くて。後半良くなってきたなと思ったら、今度はタイヤがタレ始めてきて。もう 1 周もまともに走れない、タイヤが温まってきたらタレ出すっていう悪循環でした。次のレースで、そこがちょっとでも良くなればいいですね。

## 《決勝レース 2》

このレースウィークの最終レースとして行われたレース 2。果たして、ポールスタートの清水選手は逃げられるのか？ 何より注目すべきは最後尾から岡本選手が、18 番手から渡会選手がどこまで追い上げてくるか。ちなみにピットスタートながら、益田選手はレース 1 で 11 位まで順位を上げていたから、抜いて来られぬわけではなさそう。



好スタートを清水選手が切り、夕田選手、永原選手の順で続いていくも、1コーナーで入江選手が益田選手をかわして4番手に浮上。思うようにペースの上がらぬ増田選手は、その後、KOUKI SAKU選手(K2 sport☆sEKC☆SPV)の先行も許していた。

オープニングラップを終えたところで、早くも清水選手は1秒4のリードを確保。そして渡会選手は12番手、岡本選手は13番手にまで上がっていた。その後も徐々にリードを広げる清水選手、そして3周目には岡本選手が8番手、渡会選手が10番手とポイント圏内に入れてきた。さらに夕田選手と永原選手による、激しい2番手争いはなおも続く。

4周目、岡本選手と渡会選手は4番手を争う集団に、ついに追いついた！ 大渋滞の中、激しいバトルが繰り広げられるも、ふたりはどうやら接触もあったよう。気がつけばフロントウイングが曲がっているのではないかと。その影響は、特に岡本選手に及んでしまっていた。8周目に渡会選手はついに益田選手を抜いて4番手に上がるが、岡本選手はなかなか抜ききれず。そして勢いに乗る渡会選手は、2番手争いに加わることとなり、ファステストラップ1分59秒636を記した直後の最終ラップ、1コーナーで永原選手を抜いて3番手にまで躍り出る。逆に岡本選手は益田選手に、最後まで封じ込められてしまった。

その結果、清水選手が3秒4差で夕田選手を引き離して、オートポリスシリーズ2勝目を、ジャパン・チャレンジの2勝目をマーク。以下、渡会選手、永原選手、益田選手、そして岡本選手の順でゴールとなった。

岡本選手はこれによりジャパン・チャレンジの3連覇を達成。残すは日本一決定戦だけとなったが、今年は果たして……。

次のオートポリスシリーズは11月13日に、そしてジャパン・チャレンジは10月16日にモビリティリゾートもてぎで開催の予定で、いずれも今季最後の戦いとなる。



### 優勝 清水啓伸選手(DragoCORSE)

車は変わらなかったですね、最後まで。変わらなかったというか、変わってはいるんですけど、タイムにつながるかというと、別の感じの変わり方で。その中で自分としては、なるべくミスしないように、後半はマシン壊さないように、ちょっとペース落として、後ろも落としても大丈夫ぐらいの距離だったので、落ち着いてレースできた感じですね。ペース自体で言ったら、まだ全然足りないですけど。あとは日本一決定戦、勝つだけです！

### 2位 夕田大助選手(LAPS)

総合では初の表彰台です。ジェントルマンを対象にしたクラスでは上がっているんですが。めっちゃ疲れています、今は(笑)。総合の表彰を目指していたので、やっと。ありがとうございます。

### 3位 渡会太一選手(KK-SII)

めっちゃしんどかったです。(フロントウィング曲げたのは)あれ、けっこう前半です、3周目ぐらいに。あんまり影響はなかったんですけどね。しんどかったですけど、けっこういいペースで走っていて、レース1からセッティングも変えていて、それがうまく影響出たかなと。良かったです、本当に。とりあえず、一安心です。次はたぶん日本一だと思うので、リベンジしたいです。



## スーパーFJ 公式予選 第3戦

2022/9/11 11:04



正式結果

Weather: 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :ドライ

Pos	No	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KKS-II	1'59.092	3/3		141.289
2	7	渡会 太一	KK-S2	MYST KKS-II	1'59.517	4/4	0.425 0.425	140.787
3	56	松田 大輝	K-TACK MYST KK-SII	MYST KKS-II	2'00.214	5/5	1.122 0.697	139.970
4	34	清水 啓伸	DragoCORSE	MYST KKS-II	2'00.262	6/6	1.170 0.048	139.915
5	10	夕田 大助	LAPS	MYST KKS-II	2'00.627	5/6	1.535 0.365	139.491
6	97	益田 富雄	KMTS.RT.ミストKKS-II	MYST KKS-II	2'00.628	5/5	1.536 0.001	139.490
7	51	永原 蒼翔	ピットワークながはらLBJ	MYST KKS-II	2'00.734	6/6	1.642 0.106	139.368
8	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KKS-II	2'00.896	6/6	1.804 0.162	139.181
9	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KKS-II	2'01.084	3/5	1.992 0.188	138.965
10	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	2'01.182	4/5	2.090 0.098	138.852
11	89	高橋 裕和	タイマンテナンス/制動屋/イモTR	MYST KKS-II	2'01.185	6/6	2.093 0.003	138.849
12	44	篠田 義仁	イモトレレーシング/制動屋/SJ	MYST KKS-II	2'01.231	5/5	2.139 0.046	138.796
13	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシング	MYST KKS-II	2'01.701	4/6	2.609 0.470	138.260
14	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KKS-II	2'02.142	4/6	3.050 0.441	137.761
15	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KKS-II	2'02.562	6/6	3.470 0.420	137.289
16	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KKS-II	2'04.260	3/6	5.168 1.698	135.413
17	71	林 寛樹	ゼンカイレーシング真不同MURB遊技関連	MYST KKS-II	2'04.373	4/5	5.281 0.113	135.290
18	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	2'04.750	5/5	5.658 0.377	134.881
19	19	大隈 雄策	鎌田商運 オガテック ミシレーシング	WEST 19J	2'07.428	4/5	8.336 2.678	132.046
20	30	西岡 進	CMN☆ウエルトマイスター☆17J	WEST 17J	2'09.090	4/5	9.998 1.662	130.346

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'35.489 - 130%) \*\*\*\*\*

## スーパーFJ 第3戦 決勝

2022/9/11 15:46



正式結果

Weather: 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :ドライ

Pos	No	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time
1	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KKS-II	10	20'02.695		139.181	1'59.794
2	7	渡会 太一	KK-S2	MYST KKS-II	10	20'08.406	5.710 5.710	138.524	2'00.072
3	34	清水 啓伸	DragoCORSE	MYST KKS-II	10	20'14.934	12.239 6.528	137.779	2'00.756
4	10	夕田 大助	LAPS	MYST KKS-II	10	20'22.029	19.333 7.094	136.979	2'01.304
5	51	永原 蒼翔	ピットワークながはらLBJ	MYST KKS-II	10	20'26.649	23.954 4.620	136.463	2'01.495
*1	6	松田 大輝	K-TACK MYST KK-SII	MYST KKS-II	10	20'26.886	24.190 0.236	136.437	2'00.951
7	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KKS-II	10	20'29.998	27.303 3.112	136.092	2'01.995
8	44	篠田 義仁	イモトレレーシング/制動屋/SJ	MYST KKS-II	10	20'31.097	28.401 1.098	135.970	2'01.617
9	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KKS-II	10	20'35.468	32.772 4.371	135.489	2'02.431
10	89	高橋 裕和	タイマンテナンス/制動屋/イモTR	MYST KKS-II	10	20'37.604	34.909 2.136	135.255	2'02.197
11	97	益田 富雄	KMTS.RT.ミストKKS-II	MYST KKS-II	10	20'38.138	35.442 0.533	135.197	2'01.100
12	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシング	MYST KKS-II	10	20'39.969	37.274 1.831	134.997	2'02.442
13	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KKS-II	10	20'45.590	42.894 5.620	134.388	2'03.175
14	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	10	20'47.067	44.371 1.477	134.229	2'02.406
15	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KKS-II	10	20'50.852	48.156 3.784	133.823	2'03.583
16	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KKS-II	10	21'06.788	1'04.093 15.936	132.139	2'04.640
17	71	林 寛樹	ゼンカイレーシング真不同MURB遊技関連	MYST KKS-II	10	21'09.000	1'06.304 2.211	131.909	2'05.264
18	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	10	21'09.248	1'06.552 0.247	131.883	2'05.023
19	19	大隈 雄策	鎌田商運 オガテック ミシレーシング	WEST 19J	10	21'33.716	1'31.020 24.468	129.389	2'06.955
20	30	西岡 進	CMN☆ウエルトマイスター☆17J	WEST 17J	9	20'04.343	1Lap 1Lap	125.019	2'10.790

\*\*\*\*\* 以上完走 (規定周回数 9Laps) \*\*\*\*\*

スーパーFJ 公式予選 第4戦

2022/9/11 11:23



正式結果

Weather: 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track: ドライ

Pos	No	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	34	清水 啓伸	DragoCORSE	MYST KKS-II	2'00.645	4/6		139.470
2	10	夕田 大助	LAPS	MYST KKS-II	2'00.659	4/6	0.014	139.454
3	51	永原 蒼翔	ピットワークながはらLBJ	MYST KKS-II	2'00.851	4/6	0.206	139.233
4	97	益田 富雄	KMTS.RT.ミストKKS-II	MYST KKS-II	2'00.929	4/5	0.284	139.143
5	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KKS-II	2'01.282	4/6	0.637	138.738
6	89	高橋 裕和	タイマンテナス/制動屋/イワモトR	MYST KKS-II	2'01.300	5/6	0.655	138.717
7	56	松田 大輝	K-TACK MYST KK-SII	MYST KKS-II	2'01.395	3/5	0.750	138.609
8	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KKS-II	2'01.652	2/5	1.007	138.316
9	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	2'01.763	5/5	1.118	138.190
10	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシング	MYST KKS-II	2'01.928	5/6	1.283	138.003
11	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KKS-II	2'01.952	4/5	1.307	137.976
12	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KKS-II	2'02.449	6/6	1.804	137.416
13	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KKS-II	2'02.649	3/6	2.004	137.191
14	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KKS-II	2'04.286	6/6	3.641	135.385
15	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	2'04.863	4/5	4.218	134.759
16	71	林 寛樹	ゼンカイレーシング真不同MURB遊技闘速	MYST KKS-II	2'04.933	5/5	4.288	134.683
17	19	大隈 雄策	鎌田商運 オガテック ミシマレーシング	WEST 19J	2'08.504	3/5	7.859	130.941
18	7	渡会 太一	KK-S2	MYST KKS-II	2'08.793	2/4	8.148	130.647
19	30	西岡 進	CMN☆ヴェルトマイスター☆17J	WEST 17J	2'09.489	3/5	8.844	129.945
20	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KKS-II	2'25.843	2/3	25.198	115.373

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'36.933 - 130%) \*\*\*\*\*

スーパーFJ 第4戦 決勝

2022/9/11 17:54



正式結果

Weather: 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track: ドライ

Pos	No	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time
1	34	清水 啓伸	DragoCORSE	MYST KKS-II	10	20'10.212		138.317	2'00.417
2	10	夕田 大助	LAPS	MYST KKS-II	10	20'13.645	3.432	137.926	2'00.747
3	7	渡会 太一	KK-S2	MYST KKS-II	10	20'15.347	5.134	137.732	1'59.696
4	51	永原 蒼翔	ピットワークながはらLBJ	MYST KKS-II	10	20'16.643	6.430	137.586	2'00.912
5	97	益田 富雄	KMTS.RT.ミストKKS-II	MYST KKS-II	10	20'17.964	7.752	137.436	2'00.882
6	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KKS-II	10	20'18.269	8.056	137.402	2'00.067
7	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KKS-II	10	20'22.251	12.038	136.954	2'01.145
8	56	松田 大輝	K-TACK MYST KK-SII	MYST KKS-II	10	20'22.632	12.420	136.912	2'00.632
9	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KKS-II	10	20'25.303	15.090	136.613	2'01.207
10	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	10	20'25.748	15.535	136.564	2'01.110
11	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KKS-II	10	20'26.438	16.225	136.487	2'01.075
12	89	高橋 裕和	タイマンテナス/制動屋/イワモトR	MYST KKS-II	10	20'26.518	16.305	136.478	2'01.233
13	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシング	MYST KKS-II	10	20'32.884	22.671	135.773	2'02.007
14	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KKS-II	10	20'33.446	23.233	135.711	2'02.091
15	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KKS-II	10	21'06.718	56.505	132.147	2'05.195
16	71	林 寛樹	ゼンカイレーシング真不同MURB遊技闘速	MYST KKS-II	10	21'07.384	57.171	132.077	2'05.053
17	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	10	21'07.811	57.598	132.033	2'04.812
18	19	大隈 雄策	鎌田商運 オガテック ミシマレーシング	WEST 19J	10	21'35.069	1'24.856	129.254	2'06.216
19	30	西岡 進	CMN☆ヴェルトマイスター☆17J	WEST 17J	10	21'53.553	1'43.340	127.435	2'09.872
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****									
	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KKS-II	1	2'09.770	9Laps	122.949	-

